



吉川 慶一
議員

質問 糸魚川市沿岸海域の変化と状況について

最近、浜辺へ行くと「糸魚川の沿岸海域に異変が出てきている。」と心配をする声を耳にする。沿岸表層の海水が疲弊してきているが、この変化について、行政はその実態をどの程度に把握しているのか。山、河川、海、山林の現状に問題があると思うが、どうか。

陸と海を一体化した大型ジオラマが必要と思うが、どうか。

▼市長答弁

沿岸表層の海水の疲弊について、現時点で科学的データによる裏付けはないと思っているが、山、川、海は密接に関連しており、環境への影響も懸念している。

海底の地形も魅力とするところであるが、今のところ海、山を一体としたジオラマについては考えていない。

質問

北陸新幹線開業とその後の影響について

新幹線が開業して、市内の商業はどのように変わったか。1年間のアンケート調査結果はまとまったか。

開業時のイベントなどのおもてなしの企画は、どこが主体となっているのか。街づくりは街の人々と協力して盛り上げていかなければならないと考えるが、この企画によって経済効果はどのように現れているのか。

▼市長答弁

糸魚川経済団体連絡協議会が昨年行った前期の景況アンケート調査では、開業の効果が現れているとは言えない状況となっており、後期の景況調査に期待しているところである。

商工会議所、観光協会、商店街とともに各地区代表者も参加した実行委員会を組織し、市民と一体となって、より多くのお客様からお越しいただけるような企画を実施しているところである。昨年11月に行われた「いといがわバル街」においても、街と人が一体となって盛り上げ、経済的な効果も出たものと思っている。

いといが聞きたい！一般質問



田原 実
議員

質問 地方でのクリエイターの先駆者、相馬御風先生の顕彰とまちづくりについて

今年2016年は相馬御風先生が糸魚川に帰住（Uターン）して100年目の年である。以下の項目を伺う。

- (1) 帰住100年目に当たる今年予定している相馬御風顕彰事業について
- (2) 長年の課題であった新潟県指定史跡相馬御風宅のリノベーション※について
- (3) 北陸新幹線開業1周年記念イベント、新幹線で糸魚川へ来るお客様をターゲットとしたプレゼンテーションの工夫について
- (4) 交流人口増大、経済効果を目的とする、糸魚川駅周辺を「御風テーマパーク」あるいは「まるごと御風まちめぐり」としての活用について

▼教育長答弁

- (1) 御風が糸魚川に帰住して良寛研究を始めたことから、本年6月に全国良寛会糸魚川大会、秋には講演会などを開催して御風の顕彰を進めていく。
- (2) より適切な保存と積極的な公開・活用を図るため、改修復元工事を新年度に実施する。
- (3) 当市出身の音楽家の朗読による「汽車に寄せる思」を御風宅で流すことなどを計画している。また、駅自由通路では、デジタルサイネージの映像表示を活用した企画展やイベントの案内表示を工夫していく。
- (4) 駅周辺には御風宅をはじめ御風関係の歌碑なども点在しているので、関連するまちづくり団体とも連携して、レトロな町屋を巡るコースなどの設定をするなど、積極的な活用を図っていく。御風宅の改修復元と併せ、早稲田大学や関係団体などとこれまで以上に連携を図り、御風顕彰を進めていく。



御風さん

※リノベーション…既存建物を大規模に改装し、用途変更や機能の高度化を図り、建築物に新しい価値を加えること。